

# 県民ボランティア活動支援センター

## 1. 人材育成事業

資料5

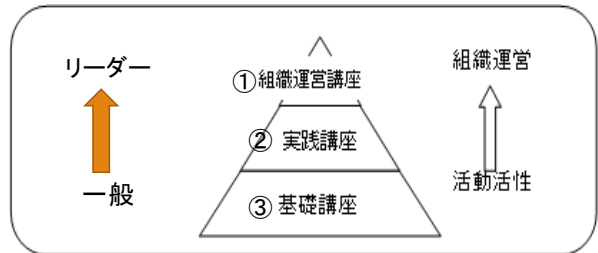
### (1) 事業実施方針

- ① 県内各地域で事業実施
- ② 地元社協との連携  
(地域の団体ニーズに即した事業を実施)



### (2) 人材育成研修体系(年8回)

- ① 組織運営講座(年2回)
- ② 実践講座(年4回)
- ③ 基礎講座(年2回)



# 県民ボランティア活動支援センター

## 2. 中間支援組織の機能強化

### 県内市町社協担当者研修会(年1回)

#### (1) 目的

市町社会福祉協議会ボランティアセンターが、NPO支援を含めた中間支援組織としての基本的な機能を拡充していくよう支援。

#### (2) 事業テーマ

- ・25年度: ボランティアコーディネーション
- ・24年度: 中間支援組織のあり方

#### (3) 特徴

- ・市町社協職員と行政担当者が一緒になり研修を受講

#### (4) 講師

ふくおかNPOセンター 代表 古賀 桃子 氏



県民ボランティア活動支援センター 人材育成講座資料

【平成25年度】

講座名	NPO・ボランティア基礎講座		NPO・ボランティア実践講座		NPO・ボランティア組織運営講座	
開催地(開催日)	佐々町(10.16)	西海市(1.19)	大村市(6.15、7.13)	雲仙市(2.19、3.8)	平戸市(2.22)	南島原市(2.25)
1. 地域(地元)のニーズ	○会員が高齢化している。 ○新しい会員を獲得したい。 ○ボランティア連絡協議会はあるが、総会などは開催されておらず、佐々町内の団体同士のつながりはそれほどない。社会福祉協議会が積極的に入ってまで活性化は考えていないが、今回の講座開催を通して団体同士のつながり作りのきっかけにしたい。	○会員が高齢化しており、「高齢しているからできない」と言われることがある。高齢でも頑張っている団体に発表いただければ。 ○新しいボランティアの掘り起こしをしたい。様々な団体を巻き込んでいる団体があれば発表を聞きたい。 ○行政OBの方にもボランティアをして欲しい。(在職中は様々なお願いごとをされるのに引退されてもご自身は活かせない、つながりを多く持っておられるのを活かしたい)行政OBの方で熱心にボランティアをされている方がいればお話を聞きたい。	○会員が高齢化している。 ○難しい内容では人を集めることができないので、入りやすいものにした。 ○ボランティア連絡協議会は活動しているが、つながりが少ない人も多いため、今回の講座を機につなぎ作りのきっかけになるようなものにした。	○会員が高齢化している。 ○社会福祉協議会として、地域課題解決に向けて協力していただけるボランティアを養成してきた。そのような経緯もあり、社会福祉協議会に頼まれたからボランティアをしている、活動をするからには活動資金などをサポートして欲しいという意識が強い。 ○今の活動に満足されている方が多く、ステップアップについてのニーズはそれほど入っていない。	○ボランティア団体、連絡協議会の活動は活発ではあるが、すべての団体がそうではないところがある。 ○ボランティア団体の活動には、団体運営について、リーダーやそれを支える役員さん、一般会員の協力も必要だと感じている。 ○一般の住民の方にも、ボランティア活動に興味を持ってもらい、新たな団体を作る機運も高めたい。	○ボランティア団体の活動が総じて活発とは言い難い現状がある。(高齢化、新しい会員が入ってこない。活動がマンネリ化して活気が低下している。) ○ボランティア団体の活動を活発にしたい。それには、団体運営について、リーダーやそれを支える役員さん、一般会員の協力も必要になっていると感じる。 ○一般の住民の方にも、ボランティア活動に興味を持ってもらい、新たな団体を作る機運も高めたい。
2. 事業対象者(誰に対してやるのか)	○市内及び近隣市のボランティア団体、及び一般の住民の方	○市内及び近隣市のボランティア団体、及び一般の住民の方	○市内及び近隣市のボランティア団体、及び一般の住民の方	○市内及び近隣市のボランティア団体、及び一般の住民の方	○市内及び近隣市のボランティア団体、及び一般の住民の方	○市内及び近隣市のボランティア団体、及び一般の住民の方
3. 事業企画概要(内容)	①講義「ボランティアとは?(団体の活動を活性化するには?)」 藤 秀憲(県民ボランティア活動支援センター) ②実践報告「団塊世代の呼び込む方法について」 井手 達夫氏(ながさきダンカーズ倶楽部 代表理事) ③活動発表「佐々町内のボランティア団体活動紹介」 佐々町内のボランティア団体 ④情報交換	①実践報告 「仲間を増やすには」 井手 達夫氏(ながさきダンカーズ倶楽部 代表理事) 「他の団体を巻き込むには」 池田 安代氏(ながさき双六の会 会長) ②トークセッション 「団体活動を活性化するには」 ～ステージ上のやり取りから「団体活動を活性化するための方策」について学びます～ コーディネーター:綾部 哲也(県民ボランティア活動支援センター センター長) スピーカー:井手 達夫氏(ながさきダンカーズ倶楽部 代表理事) 池田 安代氏(ながさき双六の会 会長) 西海市内のボランティア団体5団体の代表者	講師:古賀 桃子氏(ふくおかNPOセンター 理事長)  <第1回> ①話題提供「わたしたちの手で、すてきなまちづくりを」 ②情報交換「大村のまち・ひとを考える その1“まち”を考えよう」  <第2回> ①ふりかえり「1回目のピフォーアター」 ②情報交換「大村のまち・ひとを考える その2“ひと”を考えよう」	雲仙市社会福祉協議会と開催に向けて内容検討中	地域づくり、リーダーの心構え、組織運営を実践して、つながり、資金の捻出などで実績をあげている鹿児島県鹿屋市柳谷地区公民館長の豊重氏の講義	地域づくり、リーダーの心構え、組織運営を実践して、つながり、資金の捻出などで実績をあげている鹿児島県鹿屋市柳谷地区公民館長の豊重氏の講義
4. 参加者数	29名	27名	26名+18名			
5. 事業後のフォロー	○個別の相談対応を中心に佐々町社会福祉協議会で行っていく。 ○状況を確認し、必要に応じた支援を行う。	○個別の相談対応を中心に西海市社会福祉協議会で行っていく。 ○状況を確認し、必要に応じた支援を行う。	○個別の相談対応を中心に大村市社会福祉協議会で行っていく。 ○状況を確認し、必要に応じた支援を行う。	○個別の相談対応を中心に雲仙市社会福祉協議会で行っていく。 ○状況を確認し、必要に応じた支援を行う。	○地元社協、行政を共催もしくは後援に入ってもらい、今後のボランティアの発掘や組織化、立上げ支援などを行ってもらう。 ○今後の地域の課題解決のためのボランティア活動を支援することを事前に十分話し合いを持つ。	○地元社協、行政を共催もしくは後援に入ってもらい、今後のボランティアの発掘や組織化、立上げ支援などを行ってもらう。 ○今後の地域の課題解決のためのボランティア活動を支援することを事前に十分話し合いを持つ。